

令和 8 年度

安曇野市水道事業会計
安曇野市下水道事業会計
事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第 11 条関係資料)

目 次

令和 8 年度 安曇野市水道事業会計 当初予算

原水及び浄水費（上水道課 維持係）	4
配水及び給水費（上水道課 管理係、維持係）	5
業務費（経営管理課 庶務担当）	6
総係費（経営管理課 庶務担当）	7
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	8
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、上水道課 管理係、工務係）	9
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	10
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	11
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	12
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	13
配水設備工事費（上水道課 工務係、維持係）	14
量水器費（上水道課 管理係）	15
固定資産購入費（上水道課 工務係）	16
改良費（上水道課 管理係）	17
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	18

令和 8 年度 安曇野市下水道事業会計 当初予算

管きょ費（下水道課 下水道担当）	20
処理場費（下水道課 下水道担当）	21
浄化槽費（下水道課 下水道担当）	22
農業集落排水費（下水道課 下水道担当）	23
受託工事費（下水道課 下水道担当）	24
業務費（経営管理課 庶務担当）	25
総係費（経営管理課 庶務担当）	26
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	27
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、下水道課 下水道担当）	28
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	29
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	30
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	31
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	32
管きょ工事費（下水道課 下水道担当）	33
処理場工事費（下水道課 下水道担当）	34
農業集落排水工事費（下水道課 下水道担当）	35
流域下水道事業費（下水道課 下水道担当）	36
排水設備工事費（下水道課 下水道担当）	37
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	38

安曇野市水道事業会計

予算書ページ	31
--------	----

			課・係等	上水道課 維持係			予算書ページ		31
予算	款	1	水道事業費用		総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用			目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	1	原水及び浄水費			施策	上下水道の安定経営		
単位:千円									

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	433,727				214,000	219,727
前年度	425,559					425,559
増減額	8,168	0	0	0	214,000	△ 205,832

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	重点支援交付金水道基本料金減免負担金	214,000							
										214,000

- 【目的・効果】
- 【目的】
- ・深井戸からくみ上げた地下水に法令に基づき滅菌剤を添加し、配水池に貯水します。
 - ・定期的に水質検査を実施して水質の管理に努めるとともに検査結果を市のホームページに公開します。
 - ・水道水の安定供給が出来るよう中央監視システムのデータを基に水源施設の運転管理や施設維持管理に努めます。
- 【効果】
- ・水質検査結果の公開により、水質の安全性や検査内容の確認ができ、利用者が安心して使用できます。

- 【当該年度の事業概要(手法)】
- ・水源施設におけるポンプ設備の経年劣化部品の交換等計画的な改修・診断を行い、取水の安定性を高めます。
 - ・水質検査は、原水・浄水の全項目検査を実施し、水質監視に努めます。
 - ・配水池内の清掃を計画的に行い、安心して快適な水道水の供給に努めます。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	備消耗品費	66	水源地管理用品				
10	光熱水費	48	下水道使用料				
13	委託料	32,180	水質検査業務等、水道施設除草業務、配水池不断水清掃点検業務、電気料ESP業務サービス等				
14	手数料	134	ハチの巣除去、開閉器操作				
16	修繕費	5,500	施設設備修繕				
31	動力費	388,113	水道施設電気料				
32	薬品費	7,686	次亜塩素酸ナトリウム				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	水質検査業務	水道法の規定に基づき水質検査計画を策定し実施します。 安全で安心な飲料水を供給することができます。	13	委託料	17,847	
					計	17,847	
					計	0	

予算書ページ	31
--------	----

課・係等	上水道課 管理係 維持係
------	-----------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	2	配水及び給水費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	355,379				176,000	179,379
前年度	329,709					329,709
増減額	25,670	0	0	0	176,000	△ 150,330

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	重点支援交付金水道基本料金減免負担金	176,000							
										176,000

- 【目的・効果】
- 【目的】
- ・常時監視システムにより配水・送水施設を維持管理し、各家庭への安定的な水道水の供給に取り組みます。
 - ・漏水調査を実施し、漏水損失の減少を図ります。
 - ・各種調査やデータ収集により施設の状況把握に努めます。
- 【効果】
- ・漏水による流失を防ぐことにより、安定した水道水の供給が可能となり、動力費等の節減が図れます。

- 【当該年度の事業概要(手法)】
- ・穂高・明科地域の漏水現況分析を行います。
 - ・地図情報システムのデータ更新を行います。
 - ・検漏メーターの計画的な交換を行います。
 - ・配水施設の的確な維持管理を行います。
 - ・配水管等の漏水修理を迅速かつ的確に行います。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
6	旅費	1,284	職員研修・出張旅費等		15	賃借料	1,064	水道施設用地等賃借料、積算システム利用料等	
8	備消耗品費	1,358	配水・給水関連消耗品、水道水ペットボトル、背負い式給水袋等		16	修繕費	84,659	検定期満期量水器修繕、給配水管修理、車検等整備代等	
9	燃料費	1,017	公用車燃料代		19	保険料	700	公用車自動車共済、自賠責保険料、建物共済	
11	印刷製本費	256	メーター交換連絡票印刷、給水台帳他印刷代		23	研修費	1,073	職員研修費	
12	通信運搬費	12,345	専用回線、施設電話料等		25	負担金	7,654	退職手当負担金等	
13	委託料	112,300	漏水調査業務、アセットマネジメント策定業務、上水道台帳GIS更新業務等、検定期満期量水器取替業務、緊急修理待機業務等、カメラ調査・洗管業務、計装設備点検業務等		35	工事請負費	16,610	量水器・給水管等移設工事、洗管設備設置工事消火栓等移設工事	
14	手数料	549	保菌検査、公用車法定点検手数料等			その他	114,510	給料、手当、法定福利費、報酬、被服費、公課費、報償費、材料費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額	

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1	ソフト	漏水調査業務	穂高・明科地域施設の現況調査に基づき、漏水分析を実施します。漏水箇所の早期発見修理により、水道水の流失を防ぎ、有収率の向上を図ります。		13	委託料	14,135
						計	14,135
2	ソフト	アセットマネジメント策定業務	市が保有する水道事業全体を定量的かつ体系的に評価し、各施設の重要度・優先度を考慮したうえで、「更新需要見通し」及び財政収支見通しについて試算し、今後の資産管理の方向性の検討及び財政収支の影響を把握します。		13	委託料	5,994
						計	5,994

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	33
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	業務費		施策	上下水道の安定経営

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	124,952				300	124,652
前年度	112,873				0	112,873
増減額	12,079	0	0	0	300	11,779

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	重点支援交付金水道基本料金減免負担金	300							
										300

【目的・効果】
【目的】
・料金センターとの連携により催告及び徴収方法を指示し、徴収率を上げます。
・移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。
【効果】
・利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により上水道事業経営を安定的に維持します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 上下水道料金徴収業務の増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	備消耗品費	73	閉開栓器具	20	公課費	15	裁判所申立手数料
11	印刷製本費	5,591	料金関係用紙等印刷	25	負担金	1,033	堀金支所管理経費
12	通信運搬費	34	コンビニ収納通信電話料				
13	委託料	104,534	上下水道料金徴収業務、重点支援交付金に伴う料金システム設定委託				
14	手数料	7,330	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料、窓口取扱手数料等				
15	賃借料	5,833	上下水道料金システム使用料、堀金支所建物等使用料、ハンディターミナルリース料				
16	修繕費	509	メールシーラー機修繕				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	収納率向上対策	料金センターとの連携により催告及び徴収方法を指示し、徴収率を上げていく。移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により上水道事業経営を安定的に維持します。	13	委託料	104,234	
				20	公課費	15	
					計	104,249	
2							
					計	0	

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	4	総係費		施策	上下水道の安定経営		

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	78,784					78,784	
前年度	71,438					71,438	
増減額	7,346	0	0	0	0	7,346	

単位：千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】		職員給与等の増加。									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
1	給料	27,976	職員給料			13	通信運搬費	9,166	後納郵便料等、直通電話料		
2	手当	12,264	職員手当			13	委託料	647	企業会計システム保守等		
5	報酬	175	上下水道事業経営審議会委員報酬			14	手数料	341	振込手数料等		
6	旅費	247	職員研修・出張旅費			15	賃借料	3,748	本庁舎建物等使用料、企業会計システム使用料等		
7	被服費	37	作業着等			23	研修費	200	職員研修費		
8	備消耗品費	948	一般事務用品、コピー用紙、新聞代等			25	負担金	9,033	本庁舎管理経費、公営企業会計運用支援ツール共同調達負担金、協会会員費、退職手当負担金等		
11	印刷製本費	44	経理関係用紙等印刷				その他	13,958	法定福利費、法定福利費引当金繰入額、賞与引当金繰入額、貸倒引当金繰入額、報償費		

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1								
						計	0	
2								
						計	0	

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	5	減価償却費		施策	上下水道の安定経営	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,013,435				247,860	765,575
前年度	1,045,315				257,022	788,293
増減額	△ 31,880	0	0	0	△ 9,162	△ 22,718

単位：千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	247,860							
										247,860

【目的・効果】
・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
51	有形固定資産 減価償却費	1,013,435	建物、構築物、機械及び装置、車輛及び運搬具、工 具・器具・備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当 上水道課 管理係・工務係
------	----------------------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	6	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営	

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	15,787					15,787	
前年度	17,065					17,065	
増減額	△ 1,278	0	0	0	0	△ 1,278	

単位：千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

- ・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。
- ・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
53	固定資産除却損	12,377	構築物、機械及び装置除却損				
54	固定資産除却費	3,410	消火栓撤去工事等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	53,087					53,087
前年度	58,698					58,698
増減額	△ 5,611	0	0	0	0	△ 5,611

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債の支払利息です。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
58	企業債利息	53,087	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営	

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	10,000					10,000	
前年度	1,000					1,000	
増減額	9,000	0	0	0	0	9,000	

単位:千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】		消費税及び地方消費税の増加。							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
64	消費税及び地方消費税	10,000	水道事業消費税及び地方消費税						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	過年度損益修正損		施策	上下水道の安定経営

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,501					1,501	
前年度	1,501					1,501	
増減額	0	0	0	0	0	0	

単位：千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・漏水修理減免申請により、過年度水道料金調定額に調定更正が発生した場合に費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	1,501	過年度水道料金修正損(調定更正発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営	

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1					1	
前年度	1					1	
増減額	0	0	0	0	0	0	

単位：千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	上水道課 工務係 維持係
------	-----------------

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	配水設備工事費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源						一般財源
本年度	1,517,818	国支出金	県支出金	企業債	一般会計出資金	分担金	工事負担金	780,138
前年度	1,441,966	0		150,000			87,970	1,203,996
増減額	75,852	6,080	0	300,000	0	0	193,630	△ 423,858

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	企業債	450,000							
	2	工事負担金	281,600							
	3	交付金	6,080							
										737,680

【目的・効果】
【目的】
・拠点配水池に接続する導・送水管及び、重要給水施設への配水管の更新を図ります。
・老朽化した水道施設の更新・改修・耐震化等を計画的に推進し、安心で安全な水道水の供給を図ります。
【効果】
・管路が耐震管にすることにより、災害時に重要給水施設へ確実に水道水の供給が図れます。
・漏水等が解消され有収率の改善が見込めます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・主要管路整備事業：(岩原低区配水系)DIPφ150 L=400m 配水池場内整備(土工・建築) 一式
・既存管路更新事業：(豊科)DIPφ200・HPPEφ75他 2路線 L= 470m (穂高)HPPEφ50～100 4路線 L= 1,190m 他
・非常用発電機設置事業：(上原配水池)非常用発電機設置 一式 他
・既存施設更新事業：岩原低区配水池場内整備(機械・電気) 一式 他

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	185,955	主要管路整備工事設計監理業務、既存管路(老朽管)更新工事設計業務、非常用発電機設置工事設計監理業務他				
14	手数料	38	建築確認申請検査手数料				
25	負担金	70,400	舗装復旧負担金等				
30	路面復旧費	15,730	路面復旧工事				
35	工事請負費	1,245,695	主要管路整備工事、既存管路(老朽管)更新工事、非常用発電機設置工事、既存施設更新工事、負担金工事 他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	主要管路整備事業	重要給水施設への配水管を耐震化することにより、確実に水を供給することができます。	13	委託料	14,905	
				35	工事請負費	212,300	
					計	227,205	
2	ハード	非常用発電機設置事業	拠点配水池へ非常用発電設備を設置し、災害時や停電時における大規模な断・減水を引き起こさないことで、災害に強い水道システムの構築が図れます。	13	委託料	4,950	
				35	工事請負費	163,020	
					計	167,970	

予算書ページ

39

課・係等

上水道課 管理係

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	2	量水器費		施策	上下水道の安定経営	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,171					1,171
前年度	1,170					1,170
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・新たに水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

【当該年度の事業概要(手法)】

・340個の量水器を購入します。

【内訳】

・φ13 330個（豊科80個、穂高140個、三郷80個、堀金20個、明科10個）

・φ20 10個（豊科5個、穂高5個）

【一般財源増加理由】単価増加のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
34	量水器費	1,171	新設メーター購入費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等	上水道課 工務係
------	----------

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	3	固定資産購入費		施策	上下水道の安定経営	

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	8,550					8,550	
前年度	548					548	
増減額	8,002	0	0	0	0	8,002	

単位：千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・明科第2水源地移転に伴う土地の購入

【当該年度の事業概要(手法)】
・明科第2水源地移転に伴う土地の購入

【一般財源増加理由】		固定資産の購入が増加したため。							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
71	土地	8,550	明科第2水源地移転用地						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	上水道課 管理係
------	----------

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	改良費		施策	上下水道の安定経営

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	255					255
前年度	295					295
増減額	△ 40	0	0	0	0	△ 40

単位:千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・新たにφ75mm以上の水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

【当該年度の事業概要(手法)】
・φ75mm以上の量水器を2個購入します。
【内訳】
・φ 75 1個（遠隔フランジ式 豊科1個）
・φ 100 1個（遠隔フランジ式 豊科1個）

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
77	工具機械器具改良費	255	大口径新設メータ購入費(φ75mm以上)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	企業債償還金		施策	上下水道の安定経営

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	531,192					531,192
前年度	554,675					554,675
増減額	△ 23,483	0	0	0	0	△ 23,483

単位：千円

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
61	企業債元金償還金	531,192	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

安曇野市下水道事業会計

予算書ページ	65
--------	----

			課・係等	下水道課 下水道担当			予算書ページ		65
予算	款	1	下水道事業費用		総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用			目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	1	管きよ費			施策	上下水道の安定経営		
単位：千円									

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,207,810	0	0	0	0	1,207,810	
前年度	1,217,448	9,845	0	0	0	1,207,603	
増減額	△ 9,638	0	0	0	0	207	
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
							0

- 【目的・効果】
- 【目的】
- ・下水道管路施設の維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供します。
- 【効果】
- ・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。

- 【当該年度の事業概要(手法)】
- ・下水道管路施設の維持管理を委託します。(明科浄化センター及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)
 - ・犀川安曇野流域下水道に係る維持管理負担金を支出します。
 - ・前年度の新設管路等のデータを下水道台帳に登録するための業務を委託します。
 - ・市民の利便性向上、開発事業者等の事務効率化に向け、市が管理する下水道台帳をホームページ上で閲覧できる環境を構築するための業務を委託します。
 - ・下水道施設の維持補修を行います。

【一般財源増加理由】 管路施設修繕費増加のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
6	旅費	710	職員研修費・出張旅費、会計年度任用職員通勤費	15	賃借料	446	積算システム利用料、高速道路使用料、下水道用地賃借料等
8	備消耗品費	267	一般事務用品、積算関係図書、管路点検器具等	16	修繕費	19,172	管路施設修繕費、車検整備代等
9	燃料費	758	公用車燃料代	19	保険料	118	自賠責保険料、自動車損害共済
11	印刷製本費	495	マンホールカード印刷、排水設備確認申請書等印刷	20	公課費	23	自動車重量税
12	通信運搬費	264	直通電話及び携帯電話使用料	23	研修費	676	職員研修費
13	委託料	141,875	下水道施設等維持管理業務(管きよ)、下水道施設広域監視業務、下水道台帳データ更新業務、下水道台帳データ閲覧に伴う環境構築業務等	25	負担金	991,188	流域下水道維持管理負担金等
14	手数料	189	公用車車検及び法定点検手数料		その他	51,629	給料、手当、報酬、被服費、材料費等

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	下水道施設等維持管理事業	公共下水道の管路・マンホールポンプ場の維持管理業務を専門知識を有する者へ委託し、管路施設の機能を確保します。	13	委託料	109,285	
					計	109,285	
2	ソフト	流域下水道維持管理負担金事務	流域下水道施設の維持管理負担金を支出します。	25	負担金	987,486	
					計	987,486	

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	67
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	処理場費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	52,761	0	0	0	0	52,761
前年度	92,660	0	0	0	0	92,660
増減額	△ 39,899	0	0	0	0	△ 39,899

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・明科浄化センターの維持管理を行い、環境保護や公共衛生の確保、設備の効率的な運用を図ります。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・明科浄化センターの維持管理を委託します。(下水道管路施設及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)
・明科浄化センターの汚泥運搬処理を委託します。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	52,629	下水道施設等維持管理業務(処理場)、下水道施設広域監視業務、脱水汚泥運搬処分業務等				
19	保険料	132	明科浄化センター建物共済				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	下水道施設維持管理事業	明科浄化センターの施設管理、運転管理、維持管理業務を専門知識を有する者へ委託することにより、汚水処理機能を確保します。	13	委託料	39,050	
					計	39,050	
2							
					計	0	

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	67
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	3	浄化槽費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	2,443	0	0	0	0	2,443	
前年度	2,169	0	0	0	0	2,169	
増減額	274	0	0	0	0	274	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・大口沢地区の特定地域生活排水処理施設(市町村設置型合併処理浄化槽)の維持管理を行い、環境保護や公共衛生の確保、設備の効率的な運用を図ります。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・施設の保守点検を委託します。
・法定検査及び汚泥の汲み取りを行います。

【一般財源増加理由】 汚泥汲み件数の増加及び労務単価の上昇に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	457	合併浄化槽保守点検業務				
14	手数料	818	汚泥汲み取り料、合併浄化槽法定検査手数料				
16	修繕費	753	処理槽修繕費				
25	負担金	336	大口沢浄化槽組合負担金				
32	薬品費	79	浄化槽放流水滅菌剤				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	67
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	農業集落排水費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	68,840	0	0	0	0	68,840	
前年度	59,492	0	0	0	0	59,492	
増減額	9,348	0	0	0	0	9,348	
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
・農業集落排水処理施設の維持管理を行い、環境保護や公共衛生の確保、設備の効率的な運用を図ります。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・農業集落排水の浄化センター及び管路施設の維持管理を委託します。(公共下水道施設を含めた総合一括管理委託)
・4箇所(押野、川西、中村、生野)の浄化センターから発生する汚泥の引抜運搬処理を委託します。

【一般財源増加理由】維持管理単価の上昇に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	67,718	下水道施設等維持管理業務(農集)、下水道施設広域監視業務、汚泥引抜運搬業処理務				
16	修繕費	1,034	施設修繕費				
19	保険料	88	浄化センター建物共済				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	下水道施設維持管理事業	農業集落排水施設の施設管理、運転管理、維持管理業務を専門知識を有する者へ委託することにより、管路施設の流下能力確保と汚水処理機能を確保します。	13	委託料	54,109	
					計	54,109	
2							
					計	0	

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	67
--------	----

予 算	款	1	下水道事業費用	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
					施策	上下水道の安定経営
	目	5	受託工事費		単位:千円	

当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	企業債	その他					
本年度	48,565	0	0	0	48,565	0				
前年度	24,057	0	0	0	24,057	0				
増減額	24,508	0	0	0	24,508	0				
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	受託工事収益	48,565							
										48,565

【目的・効果】
【目的】
・公共事業の推進に寄与します。
【効果】
・工事において支障となる下水道施設の移設等を先行させることにより、公共事業が円滑に進められます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・工事発注の事業主体との協議により、支障となる管きょ・マンホール・公共ます等の移設、撤去、高さ調整等を行います。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
16	修繕費	48,565	下水道施設移転補償工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	67
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	6	業務費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	10,609	0	0	0	0	10,609	
前年度	10,245	0	0	0	0	10,245	
増減額	364	0	0	0	0	364	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・料金センターとの連携により催告及び徴収方法を指示し、徴収率を上げます。
・移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。
【効果】
・利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により下水道事業経営を安定的に維持します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】		手数料単価増加のため。							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	印刷製本費	2,511	料金関係用紙等印刷						
14	手数料	5,823	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料、窓口取扱手数料等						
15	賃借料	845	受益者負担金システム使用料						
22	報償費	1,430	受益者負担金前納報奨金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	67
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	7	総係費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	116,134	0	0	0	0	116,134	
前年度	111,524	0	0	0	0	111,524	
増減額	4,610	0	0	0	0	4,610	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・下水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 使用料徴収業務委託事務負担金等の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	給料	10,702	職員給料	14	手数料	159	振込手数料
2	手当	4,113	職員手当	15	賃借料	634	企業債システム使用料、本庁舎建物等使用料等
6	旅費	68	職員研修・出張旅費等	23	研修費	183	職員研修費
7	被服費	37	作業着等	25	負担金	89,250	本庁舎管理経費、使用料徴収業務委託事務負担金等
8	備消耗品費	178	一般事務用品等		その他	6,073	法定福利費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額、貸倒引当金繰入額
11	印刷製本費	44	経理関係用紙等印刷				
12	通信運搬費	4,693	後納郵便料、料金受取人払郵便料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	69
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	8	減価償却費		施策	上下水道の安定経営	

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,865,463	0	0	0	764,087	1,101,376	
前年度	1,863,336	0	0	0	766,011	1,097,325	
増減額	2,127	0	0	0	△ 1,924	4,051	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	764,087							
										764,087

【目的・効果】
・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

減価償却見込資産の増のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
51	有形固定資産 減価償却費	1,677,543	建物、構築物、機械及び装置、工具・器具・備品				
52	無形固定資産 減価償却費	187,920	流域下水道施設利用権				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

課・係等	経営管理課 庶務担当 下水道課 下水道担当
------	--------------------------

予算書ページ	69
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	9	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	5,217	0	0	0	0	5,217	
前年度	267	0	0	0	0	267	
増減額	4,950	0	0	0	0	4,950	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

- ・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。
- ・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】		構築物・機械及び装置除却損の増額のため。							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
53	固定資産除却損	4,997	固定資産除却損						
54	固定資産除却費	220	構築物・公共ます撤去費用						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	69
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	317,639	0	0	0	0	317,639	
前年度	330,103	0	0	0	0	330,103	
増減額	△ 12,464	0	0	0	0	△ 12,464	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の支払利息です。
・一時借入金の支払利息です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
58	企業債利息	317,638	定期償還分、資本費平準化償分				
59	借入金利息	1	一時借入分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	69
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営	

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	43,439	0	0	0	0	43,439	
前年度	48,128	0	0	0	0	48,128	
増減額	△ 4,689	0	0	0	0	△ 4,689	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・下水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
64	消費税及び地方消費税	43,439	下水道事業消費税及び地方消費税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	69
--------	----

予 算	款	1	下水道事業費用	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
					施策	上下水道の安定経営	
	目	3	過年度損益修正損				
単位:千円							

当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	企業債	その他					
本年度	701	0	0	0	0	701				
前年度	501	0	0	0	0	501				
増減額	200	0	0	0	0	200				
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・水道の漏水修理減免申請により、過年度下水道使用料調定額に調定更正が発生した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】		過年度下水道使用料修正損の増額のため。					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	701	過年度下水道使用料修正損(調定更生発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	69
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1	0	0	0	0	1	
前年度	1	0	0	0	0	1	
増減額	0	0	0	0	0	0	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	73
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	1	管きょ工事費		施策	上下水道の安定経営	

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	778,338	259,800	0	531,100	0	△ 12,562
前年度	716,826	330,000	0	202,100	165,000	19,726
増減額	61,512	△ 70,200	0	329,000	△ 165,000	△ 32,288

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	531,100							
	1	国庫補助金	259,800							
										790,900

【目的・効果】
【目的】
・下水道管路施設の整備により、衛生的で快適な生活環境の実現に向けて取り組みます。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。
・汚水処理区域の広域化を進めることにより、施設の修繕費や改築更新費が縮減され、健全かつ効率的な事業運営が見込まれます。
・下水道施設全体の老朽化を長期的な視点で予測し、計画的に施設の点検・調査、修繕・改築等に取り組みます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・下水道処理施設統廃合により、公共下水道明科処理区と農業集落排水生野地区の汚水を犀川安曇野流域下水道の幹線管路へ接続する管路等の工事を行います。
・令和6年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、マンホールポンプの更新工事、管路の長寿命化、更新工事を行います。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	49,016	下水道施設統廃合事業及び下水道施設改築更新事業ほか現場技術業務(積算、監督)等				
35	工事請負費	718,322	下水道施設統廃合事業接続管路工事及び下水道施設改築更新事業マンホールポンプ更新ほか工事等				
37	補償費	11,000	下水道施設統廃合事業上水道補償				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード		下水道施設統廃合事業	下水道処理施設を段階的に廃止し、汚水処理区域の広域化、汚水処理の共同化を図ります。	13	委託料	35,208
					35	工事請負費	387,530
					37	補償費	11,000
						計	433,738
2	ハード		下水道施設改築更新事業	下水道ストックマネジメント計画に基づき、健全度評価の低い施設の更新等を行い、施設の機能確保に努めます。	13	委託料	4,070
					35	工事請負費	302,500
						計	306,570

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	73
--------	----

予 算	款	1	資本的支出	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
					施策	上下水道の安定経営
	目	2	処理場工事費		単位:千円	

当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	企業債	その他					
本年度	14,553	0	0	14,500	0	53				
前年度	0	0	0	0	0	0				
増減額	14,553	0	0	0	0	53				
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	14,500							
										14,500

【目的・効果】
【目的】
・停電時における汚水の流出防止と緊急時の処理機能を確保するため、明科浄化センターを汚水一時貯留施設として後利用し、停電発生時に貯留できる機能を確保します。
【効果】
・電力供給が停止した際、汚水を約3日間貯留することができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・明科浄化センターを汚水の一時貯留施設に改修するための設計業務を委託します。

【一般財源増加理由】

設計業務の新規計上に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	14,553	明科浄化センター施設整備設計業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	73
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	3	農業集落排水工事費		施策	上下水道の安定経営	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	11,550	5,720	0	5,700	0	130	
前年度	3,300	0	0	3,200	0	100	
増減額	8,250	0	0	0	0	30	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	5,700							
	1	国庫補助金	5,720							
										11,420

【目的・効果】
【目的】
・農業集落排水施設の整備により、衛生的で快適な生活環境に向けて取り組みます。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・押野地区及び川西地区における既存ストックの維持管理適正化計画作成業務を委託します。
・過年度に作成した押野地区及び川西地区における計画概要書の時点修正業務を委託します。

【一般財源増加理由】業務量の増加に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	9,790	押野地区及び川西地区の維持管理適正化計画作成業務並びに計画概要書の時点修正業務				
35	工事請負費	1,760	生野浄化センター排水設備切り替え工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	4	流域下水道事業費		施策	上下水道の安定経営		

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	134,923	0	0	131,000	0	3,923	
前年度	137,669	0	0	133,000	0	4,669	
増減額	△ 2,746	0	0	△ 2,000	0	△ 746	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	131,000							
										131,000

【目的・効果】
・犀川安曇野流域下水道事業に係る建設改良費の一部を建設負担金として支出します。
（流域下水道事業費から国費を除く地方負担額のうち、事業主体である長野県が50%、地元自治体である安曇野市と松本市が残り50%を負担します。）

【当該年度の事業概要(手法)】
令和8年度流域下水道事業(安曇野市負担額)
交付金事業
終末処理場耐水化工事 5,000 千円
終末処理場汚泥貯留槽改造工事 4,091 千円
水処理1系耐震化工事 7,272 千円
水処理1系改築工事 10,453 千円
管廊耐震工事 12,726 千円
処理場し渣スクリーン詳細設計 1,364 千円
処理場場外監視CRT回線切替え工事 18,180 千円
穂高第3幹線耐水化対策工事 12,500 千円

穂高第1幹線耐水化対策工事 1,750 千円
処理場ストックマネジメント計画策定 6,818 千円
ウォーターPPP関連 14,771 千円
汚泥肥料化に伴う計画策定 2,135 千円
交付金事務費 33,818 千円
県単事業(事業計画修正業務等) 4,045 千円
計 134,923 千円

【一般財源増加理由】						
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額
25	負担金	134,923	犀川安曇野流域下水道事業建設負担金			

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	73
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	5	排水設備工事費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	781	0	0	0	0	781	
前年度	781	0	0	0	0	781	
増減額	0	0	0	0	0	0	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・井水メーターを設置し、井戸水利用者の汚水排除量を計量します。
【効果】
・井戸利用者の汚水排除量を的確に把握することで、下水道使用料の算定に反映させることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・井水メーター設置工事を行います。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
35	工事請負費	781	井水メーター設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	73
--------	----

予 算	款	1	資本的支出	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
					施策	上下水道の安定経営
	目	1	企業債償還金		単位:千円	

当初予算額			特定財源				一般財源	
			国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	2,449,586		0	0	950,000	0	1,499,586	
前年度	2,518,097		0	0	1,160,700	0	1,357,397	
増減額	△ 68,511		0	0	△ 210,700	0	142,189	
特定財源の内訳	款	1	資本費平準化債	950,000				合計金額
								950,000

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 資本費平準化債借入の減少に伴う一般財源の増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
61	企業債元金償還金	2,449,586	定期償還分、資本費平準化債分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	